

生活支援コーディネータースキルアップ等支援事例説明会

“生活支援コーディネーターの最初の一步は？”  
～各地の実践事例から～

2016.10.26

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）  
小野寺知子

# 生活支援コーディネーターの最初の一步は？

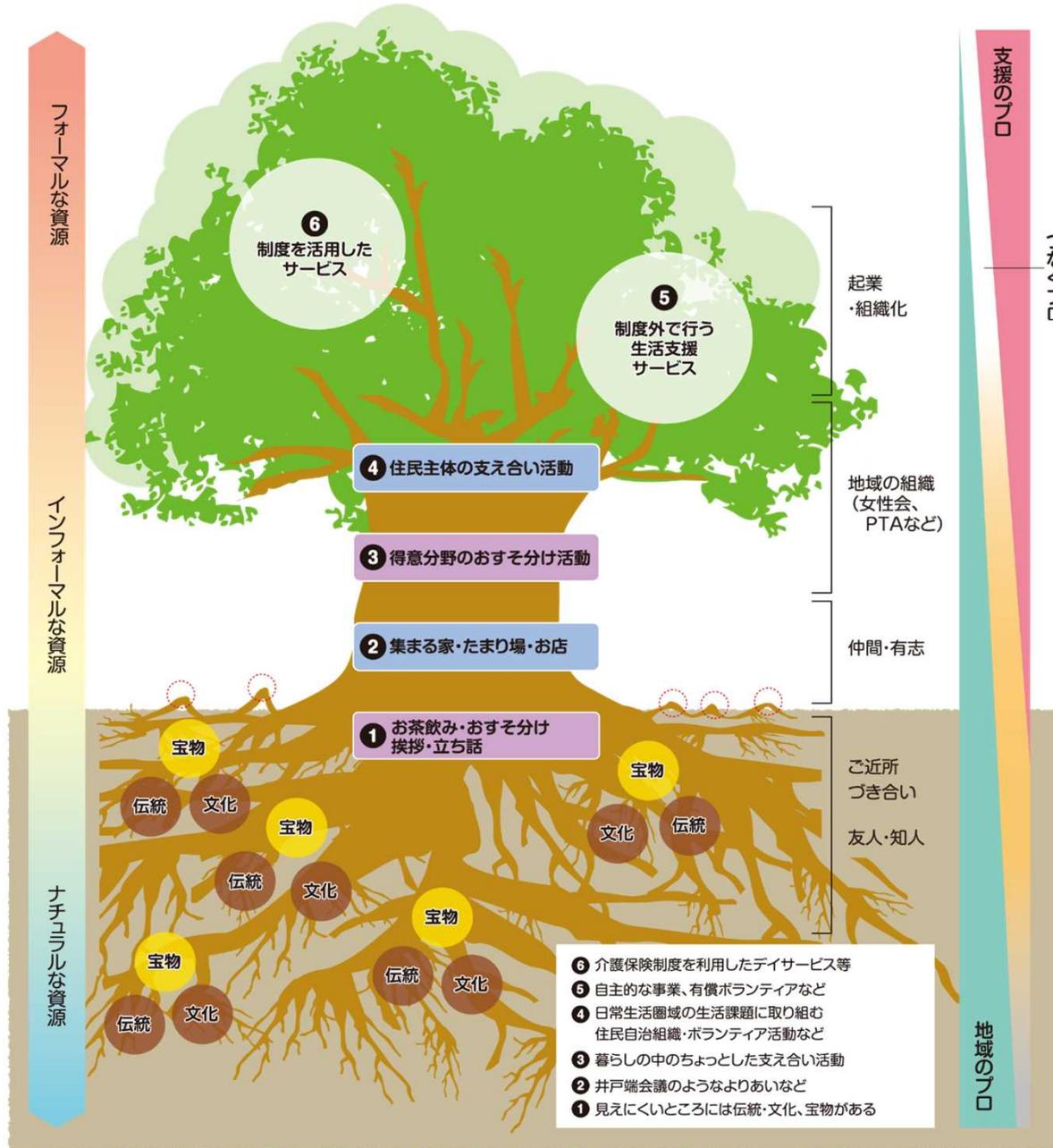
1. まずは、地域に出かけて、暮らしの中から「ナチュラルな資源」に気づこう。

【「地域づくりの木」を参照】

※「ナチュラルな資源」とは、「日々の暮らしに溶け込んだ形の自然なつながり」などを意味する。

※ コーディネーターにも行政担当者にも住民にも、生活支援体制整備や総合事業に取り組むハードルを下げ、地域づくりは5年10年15年という長期的視点が必要なことを意識してもらうことから始める。

# 地域づくりの木





2013.9.10 石巻市 南境・開成応急仮設団地

何歳になっても「秘密基地」や「居酒屋」のような  
場所で、男だけが気楽でいい(2007.5)



(高知県室戸市)

男の居場所



2007.10 高知県室戸市奈良師地区(平井利律さん撮影)



2014.1.10 高知県室戸市奈良師地区



2015.8.16 福島県昭和村佐倉地区

## そのほか

○ラジオ体操+ミニ茶話会 ←運動教室付きサロン

⇒「行かないと心配されるので休めない」

○喫茶店が高齢者のたまり場に ←有料・有償の喫茶店サロン

⇒「2日連続で来ないと、客仲間が心配で大騒ぎになる」

○冬場は牡蠣剥きで忙しい ←牡蠣剥きサロン

⇒「この時期、作業中は笑いっぱなしで、顎が痛くなる」

○伝統のお祭りがコミュニティの結束に

←小学校区の人口の8割がマンションの住民

⇒「祇園祭で新旧住民の関係性が維持されている」

○サロンで出会い、お互いのお宅を行き来する

←都市でも農村でも、高齢になるとご近所との関係が希薄に

⇒「ご近所で訪ね合える関係の、紡ぎ直し」

# 生活支援コーディネーターの最初の一步は？

2. 「ナチュラルな資源」は、「芋づる」のように連なって  
見えて来る。

「ないモノ探し」よりも「あるモノ探し」

地域に交ぜてもらおう

地域のニーズも見えてくる

地域は、想像以上に『資源の宝庫』

住民のつながりが「生活支援」になっている

# 週1回のサロン参加者から見えた「芋づる式」

(福島県郡山市／人口338,712人・高齢化率20.32%／2010国調)

○週1回のボランティアによるサロン



○NHK放送局前のラジオ体操(365日型)



○ラジオ体操 & 歩こう会(365日型)→アルコール会(年数回)



○コンビニでのお茶会(365日型)→廃業したスナック兼自宅での集いの場(月2~3回)



↓ ○震災で転居後も、自動車に参加(365日型)

○民間分譲マンションで自主的な常設のサロンの開設・運営



2015.07.11 郡山市・NHK郡山支局前・ラジオ体操



2015.07.11 郡山市・「ラジオ体操&歩こう会」



2015.10.25 郡山市・「ラジオ体操&歩こう会」全員参加のアルコール会



2015.07.24 郡山市「ラジオ体操&歩こう会」ウォーキング後のコンビニでのお茶会



2015.08.30 郡山市・「ラジオ体操&歩こう会」元スナックでの有志の飲み会



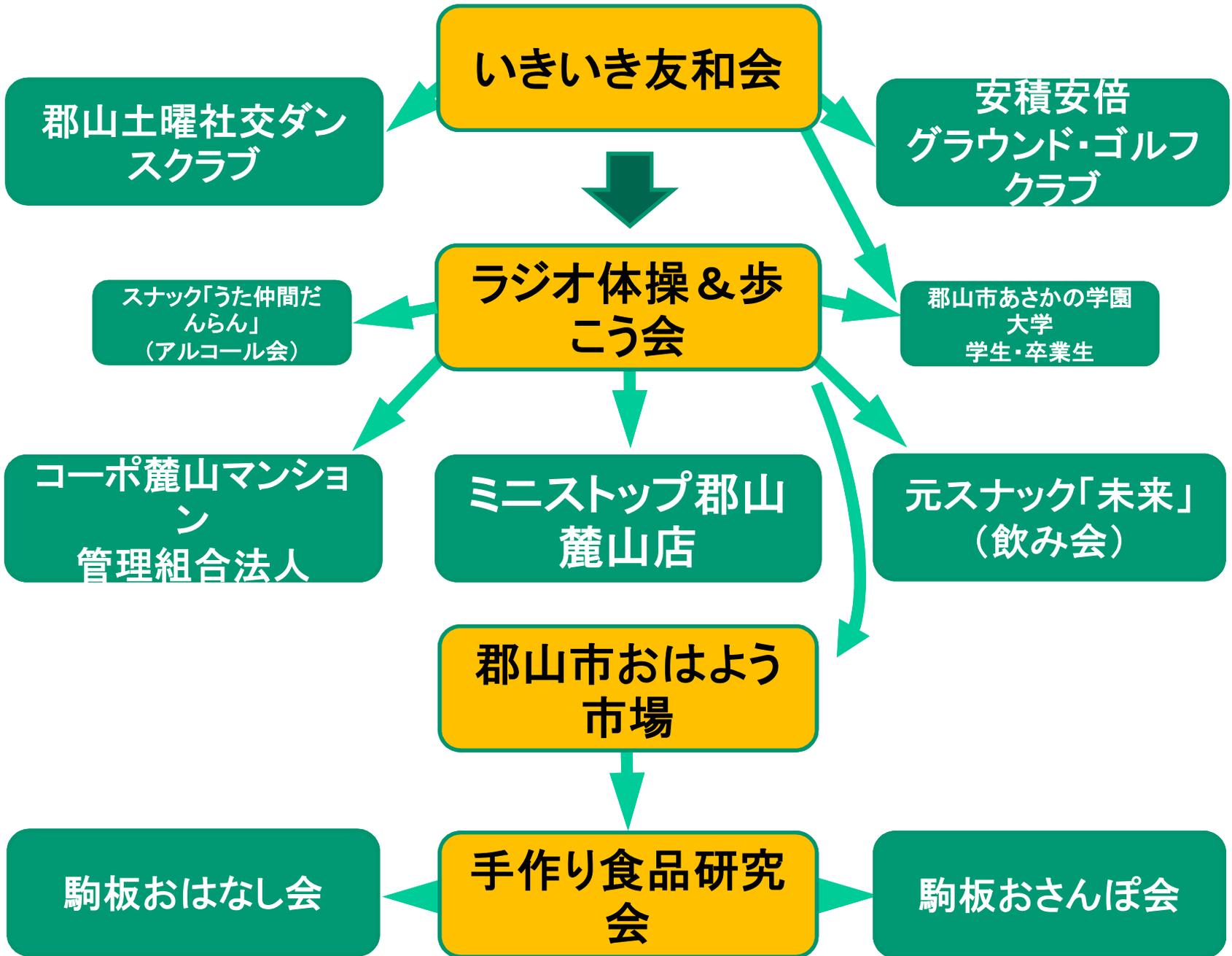
高さ制限 1.9m

コーポ麓山マンション

2015.10.03 郡山市・「コーポ麓山マンション」



2015.10.03 郡山市・「コーポ麓山マンション」常設サロン



# 生活支援コーディネーターの最初の一步は？

## 3. 「ナチュラルな資源」を活性化させる 「地域のプロ」を見つける。

※「地域のプロ」とは、「ナチュラルな資源」が日常の暮らしを豊かにし、またそれが、近所での気に掛け合いや困った際の支え合いに結びつくことを意識化して行動している人のこと。

※ 住民のほか、その地域をエリアに活動している商店や移動販売などの中にも、「地域のプロ」に値する人が存在する。

※「地域のプロ」の中から、「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を選任することもある。



2016.2.26 三重県紀北町／  
まおちゃんのおつかい便

# 生活支援コーディネーターの最初の一步は？

## 4. 見つけた資源の「見える化」を！

資源・活動の意義の共有

住民のモチベーションを支える寄り添い支援

波及効果



2016.1.8 福島県郡山市駒板地区

「トシをとつてもさすけねえ！」

# 郡山市 『通いの場』 普及推進大会

『通いの場』でつくる  
豊かな暮らしと地域の支え合い

平成 28 年 **3月17日(木)**

郡山市民文化センター 中ホール

(郡山市堤下町 1 番 2 号)

13:30 開会 (12:30 開場) ~ 16:00 閉会

**かよコレ**

郡山市『通いの場』コレクション

入場無料

『通いの場』ってなんだろ？ 介護予防や認知症予防に役立って、どうしよう？

この大会では、市民が実践しているさまざまな『通いの場』活動を紹介します。どんな活動が『通いの場』になるのか。どう始めればいいのか。活動の輪を拡げ、長く続けるためには何が必要か。『通いの場』をつくり、参加している人たちの生の声を伝えながら、そうした疑問に答えます。

主催：郡山市地域包括ケア推進課

お問い合わせ：郡山市地域包括ケア推進課 TEL 024-924-3561 (直通)



## 紹介予定団体 (50音順)

### 安子島転倒防止会

健康づくりを目的に毎週土曜日、公民館に集う。持ち寄ったお菓子や漬物、手料理でお茶飲みをしたあとは、体操やゲームを楽しむ。

### うた仲間だらん・カラオケ会

麓山公園近くのスナックは、高齢者が安心して歌とお酒を楽しめる場。マスターが指導役の「カラオケ会」が、毎週月曜に開かれる。

### 駒板おさんぼ会

中田町駒板の女性たち3~4人が、毎日誘い合って犬の散歩で集落を巡る。畑仕事ができない冬の間は特に大事な健康づくりの機会。

### 手づくり食品研究会

中田町駒板で都市・農村交流を目的に平成 15 年設立。現在は、地区住民が食材を持ち寄り、料理と食事を楽しむ会に。農作業の情報交換も。

### 松ヶ丘元気かへい

喜久田町中原集会所で毎週火曜に開くサロン。お茶飲み、体操、小物づくりに季節のイベント(花見、クリスマス会、新年会など)も。

### ラジオ体操&歩こう会

NHK郡山支局前で毎朝ラジオ体操。体操が終わればウォーキング、コンビニでのお茶飲みも。お互いを日常的に見守り、支え合う。

### いきいき友和会

介護施設のサロン廃止を受け、麓山池ノ台を中心とした地域住民が自らサロンを開設。健康・仲間・生きがいづくりの場へと発展した。

### 郡山市おはよう市場

郡山総合体育館西側駐車場に毎週日曜の早朝、農産直市が立つ。売り買いだけでなく、出店者と来場客が親しく交わり、生きがいに。

### 駒板おはなし会

気軽にお茶飲みやおしゃべりができる場をつくらうと、中田町駒板の一人の女性が周囲に呼びかけた。今年 1 月 8 日に集会所で初開催。

### 土曜社交ダンスクラブ

市内の社交ダンスクラブとしては最も古い歴史を持つ。90 歳代の女性も軽やかにステップを踏む。休憩時のおしゃべりも「活動のうち」。

### 緑ヶ丘西三丁目町内会

「交流なくして支え合いなし」を合い言葉に、住民同士の顔の見える関係づくりに励む一方、防犯や見守りなどのボランティア活動も展開。

### 五十鈴グラウンドゴルフクラブ

郡山市グラウンドゴルフ協会加盟クラブとして最古参。健康づくりはもちろんで、自治会並の連絡網でお互いの見守りも。週 4 回活動。

### コー蒲山マンション管理組合法人

東日本大震災をきっかけに、入居者同士の交流と支え合いに注力。今年 1 月には空き室を活用する常設型サロンの試験運用も始めた。

### 桜ヶ丘ボランティア会

田村町桜ヶ丘の「いきいきサロン」の世話人グループ。メンバー数人は、毎週火曜に来る移動販売車に合わせ自宅でお茶飲み会も。

### 東原団地 1 号棟団地会

復興公営住宅の入居者が、毎朝 9 時に集会所でのラジオ体操に励む。そのままサロンに参加したり、ウォーキングに出かけたり。

### ミニストップ郡山麓山店

イトインコーナーが、ラジオ体操とウォーキングを楽しむ住民グループの毎日のお茶飲み場に、サロン活動はコンビニでもできる！

\* ここで紹介する『通いの場』は、あくまでも一例です。「うちの地域でも似たようなことをしている」「私のまちにはこんな通いの場がある」といった情報を、ぜひ郡山市 地域包括ケア推進課までお寄せください (TEL024-924-3561)。



「トシをとつてもさすけねえ」暮らしをできるだけ長く続けるためには、よく人と会っておしゃべりを楽しみ、栄養のあるものをしっかり食べ、日々適度に体を動かすことがたいせつです。むずかしいことではありません。日常のなかに、楽しい時間を過ごせる『通いの場』をいくつか持てばいいのです。

『通いの場』を持つことは、高齢になっても、ひとり暮らしになっても、地域で孤立することなく、健やかに充実した生活を送る秘けつです。サロンをはじめ趣味・スポーツ・教養のサークル、町内会活動、ラジオ体操活動、地域のお店でのお茶飲み、畑仕事や産直販売など、仲間が集まって楽しく過ごす『通いの場』を日々の暮らしに取り入れましょう。『通いの場』で健康づくりと仲間づくりを進めていけば、お互いを見守り、気遣う、支え合いの関係も育まれます。

本大会は、市内の優れた『通いの場』の実践事例を紹介、顕彰し、その普及促進を図ります。



# “トシをとってもさすけねえ” 郡山市「通いの場」普及推進大会 東北

～平成27年度 復興庁「新しい東北」自治体版ハンズオン支援事業～



2016.3.17 郡山市民文化センター

# 生活支援コーディネーターの最初の一步は？

## 5. 生活支援コーディネーターはつながりづくりを！

活動のネットワークや地域団体

行政を含む専門職

市町村内外のコーディネーター

※つながりづくりが、協議体の基盤になっていく



2016.5.28長野県上伊那地区・生活支援コーディネーター情報交換会

# 生活支援コーディネーターと協議体の 多様性を支援

- 各市町村が考え、関係者と協議しながら進めている  
コーディネーターと協議体は、たとえどんな形で  
進めることになっても、それが地域特性
- 地域特性を活かして進めて行けば、  
必ず先は見えてくるが、そのための支援体制が必要

# 多様な生活支援COの配置と協議体の設置①

## ○多賀城市(宮城県)人口62,177人(2016.3末現在)

第1層 CO/配置なし 協議体設置(委員11人)

第2層 CO/3包括に各1人設置 協議体設置

第2層エリアの複数行政区単位の地域ネットワーク会議を設置

## ○岩沼市(宮城県)人口44,242人(2016.3末現在)

第1層 CO/市行政に1人配置 協議体設置

第2層 CO/4包括に各1人配置 協議体設置

## ○川崎町(宮城県)人口9,186人(2016.3末現在)

第1層 CO/配置なし 協議体未設置

第2層 CO/第3層COから25人を委嘱 協議体設置

第3層 CO/住民から250人設置

## 多様な生活支援COの配置と協議体の設置②

○昭和村(福島県)人口1,334人(2016年9月1日現在)

第1層 CO/村社協に常勤1人、地域づくりNPOに常勤1人、  
村外中間支援団体に非常勤1人配置

協議体未設置

○宮田村(長野県)人口9,149人(2016年9月1日現在)

第1層 CO/村社協に常勤1人、村行政に担当常勤1人配置  
協議体設置(委員57人)

○その他

- ・CO/第1層、第2層ともに、市町村社協に配置
- ・CO/第1層に複数配置して、当面は第2層までをカバーする設置
- ・CO/第2層を小学校区やまちづくり協議会のエリアで配置

## 宮城県の市町村支援体制①

- ① 被災者支援の経験を活かし、県レベル協議体（宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議）の設置
- ② 運営委員会が主体となって、個別市町村のヒアリング、圏域情報交換会、アドバイザー派遣、養成研修、情報紙発刊
- ③ 市町村に寄り添えるよう事務局を設置して、運営委員会とアドバイザー、県と事務局が一体になって支援

## 宮城県の市町村支援体制②

- ④ 「生活支援コーディネーターを孤立させない」を念頭に、研修の対象は、コーディネーターのほか、
  - ア.受託法人の管理者や専門職、
  - イ.一緒に協働する住民や専門職、
  - ウ.行政の担当者などで、チームで受講を推奨
- ⑤ 住民から選任されたコーディネーターや、個別支援の専門職から選任されたコーディネーターが理解しやすいよう、多様な研修を用意

# 宮城県 地域支え合い・ 生活支援 推進連絡会議

自治体・職能団体・事業者など  
27団体で構成  
(年2回会議)  
市町村支援のための  
プラットフォーム

## 運営委員会

13人の運営委員で構成  
(月1回会議)  
事業の進行管理を  
審議・決定

事務局:  
宮城県社会福祉協議会



# 市町村

戸別訪問による  
情報収集・  
支援ニーズの聞き取り

生活支援コーディネーター  
地域包括支援センター

圏域別  
情報交換会

社会福祉協議会

生協

農協

アドバイザー派遣

民間企業

生活支援コーディネーター  
養成研修の実施  
(担当:CLC)

NPO・ボランティア等

民生委員・児童委員協議会

情報紙「MIYAGIまちづくりと  
地域支え合い」の発行  
(担当:CLC)

行政区・町内会

老人クラブ

## 基礎研修

### 研修1 【半日研修】

#### 初級研修

- 目的と内容：介護保険の改正の趣旨、新しい総合事業と生活支援サービスの体制整備（協議体の設置と生活支援コーディネーターの配置）を含む地域支援事業とは何かを学びます。
- 対象：協議体の構成メンバーや生活支援コーディネーターのほか、自治会・町内会や地区社会福祉協議会のリーダーなど住民、民生委員・福祉委員、行政や地域包括支援センター・社会福祉協議会などの専門機関、居宅介護支援事業所などの事業所や専門職。

### 研修1-2【2日間研修】

#### 「地域福祉コーディネート基礎・実践研修」受講のための事前研修

- 目的と内容：地域福祉コーディネート基礎・実践研修を受講するにあたり、その理解促進のために事前研修を実施します。
- 対象：地域福祉コーディネート業務の未経験者や各種の国家資格等の未取得者など。

### 研修2【2日間研修】

#### 地域福祉コーディネート基礎・実践研修

- 目的と内容：生活支援コーディネーターの活動の基盤となる地域福祉コーディネートの基礎と実践（コミュニティワークの理解、社会資源の開発など）を学びます。
- 対象：研修1と同じ。（生活支援コーディネーターの任にあたる方を優先します）

### 研修3【2日間研修】

#### 生活支援コーディネート基礎・実践研修

- 目的と内容：制度改正の趣旨、協議体の設置と運営、生活支援コーディネーターの役割と具体的な活動、地域資源の把握と開発の方法などを体系的に学びます。
- 対象：研修1と同じ。（生活支援コーディネーターの任にあたる方を優先します）

## 応用研修

### 応用研修1【1日研修】

地域支え合い活動の発見の仕方・広げ方～  
かかれた資源を見つけ出せ～

#### ●目的と内容

「行く、聞く、見つける」地域への入り方と住民との関わり方や、支え合い活動の広げ方について学びます。

#### ●対象

研修1 初級研修の受講修了者

### 応用研修2【1日研修】

地域福祉コーディネート中堅研修

#### ●目的と内容

地域自立生活支援事例やコミュニティワーク実践事例の検討方法を学びます。

#### ●対象

研修2 地域福祉コーディネート基礎・実践研修の受講修了者

### 応用研修3【1日研修】

生活支援コーディネーターによる  
実践報告＆事例検討会

#### ●目的と内容

すでに生活支援コーディネーターとして活動している実践者から具体的な活動内容を学ぶとともに、実践事例検討をとおして、コーディネーターの役割を学びます。

#### ●対象

研修3 生活支援コーディネート基礎・実践研修の受講修了者

### 応用研修4【1日研修】

協議体の立ち上げと運営の方法

#### ●目的と内容

協議体設置にあたり、関係機関や団体等への働きかけの方法や住民主導の協議体のづくり方を学びます。

#### ●対象

研修3 生活支援コーディネート基礎・実践研修の受講修了者

### 応用研修5【1日研修】

有償サービスの立ち上げと運営の方法

#### ●目的と内容

定型的な制度サービスでは対応できない、信頼関係に基づいた日常支援をおこない、人と人を結ぶことを目的とした有償福祉サービスについて学びます。

#### ●対象

研修3 生活支援コーディネート基礎・実践研修の受講修了者

★受講必須

制度の理解

★受講選択

地域生活支援の理解

★受講必須

社会資源の開発

コミュニティワークの理解

★受講必須

協議体と生活支援

コーディネーターの理解